

2025/May/10

中東地域、「電力による『運命共同体』構想」 ～英国・中国の共同提案～

原案：捧 大地

第1 目的

該当エリア内の「**平和、共存・共栄**」を目的とする。

第2 提言 ～中東地域の「電力による『運命共同体』構想」～

中東地域、北東アフリカ地域、トルコのアジア大陸地域（イスタンブールのアジア大陸側を当然に含む）、東方は、パキスタン・アフガニスタンまでを含む、の地域における「**電力による『運命共同体』構想**」を提唱する。

第3 具体的方法

対象エリア内において、**クローズド**（closed）な「**原子力発電**エネルギーによる『**運命共同体**』構想」を実施する。

第4 詳細

2025年、すなわち21世紀の四半世紀が過ぎた今日においても、「再生エネルギー『のみ』」による「安定・大量・持続的」なエネルギー供給は、残念ながら、「道半端（みちなかば）」である。

すなわち、現時点の技術力では、**再生エネルギー「のみ」による「安定・大量・持続的」なエネルギー供給は、未だ、実現することができない。**

つまり、現時点では、対象地域の「需要」と「供給」のバランスが崩れると、広範囲にわたって、「**ブラックアウト**」すなわち「**大停電**」してしまうことを、技術的に未だ避けることができない。具体例は枚挙にいとまがない。

このような次第であるので、原子力発電所の物理的な耐用基準である「**向こう50年間**」の限定的な方策として、上記の該当エリア内の「**原子力発電による『運命共同体』構想**」を提言する。

第5 緊急会議の招集

電力は、平和・医療・経済・教育・食料・衛生など多岐にわたる**喫緊の課題**である。

各分野における「**専門家の緊急会議**」を、切に、願う次第である。

以 上

本議題の適切な場での「**共有**」をお願いします。

ご助言いただきました知財法の先生に、厚く、感謝いたします。敬具